様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	中央動物専門学校
設置者名	学校法人　中央工学校

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
動物管理専門課程	愛犬美容科（2 年制）	昼	1426 時間	80×2＝160 時間	
	愛犬美容研究科（3 年制）	昼	1714 時間	80×3＝240 時間	
	愛玩動物看護科（3 年制）	昼	962 時間	80×3＝240 時間	
	動物共生研究科（3 年制）	昼	1342 時間	80×3＝240 時間	
	動物共生総合科（4 年制）	昼	1674 時間	80×4＝320 時間	
（備考） 2023 年の 1 年生から「動物看護研究科」が「愛玩動物看護科」に科名変更 今年度の 3 年生は「動物看護研究科」 科目名・時間等の変更は無いため「愛玩動物看護科」として記入している。					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開している。授業科目一覧の中に、教員の実務経験に関するチェック欄あり HPURL：https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_subject.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	中央動物専門学校
設置者名	学校法人　中央工学校

１．理事（役員）名簿の公表方法

ＨＰにて理事名簿を公開している。
（掲載：https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/list_director.pdf）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	建築積算事務所役員	約３年	教育内容･学科編成に対する専門的な知見
非常勤	設備会社役員	約３年	教育内容･学科編成に対する専門的な知見
（備考） 当法人の現行理事の任期は令和６年６月９日～令和９年度定時評議員会終結時まで（約３年）。			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中央動物専門学校
設置者名	学校法人　中央工学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） （愛犬美容科（2 年制）愛犬美容研究科（3 年制）愛玩動物看護科（3 年制）動物共生研究科（3 年制)、動物共生総合科（4 年制)） 科目責任者、担当教員を中心に指導記録及び実施記録表を作成し、１時間単位での授業計画を行っている。授業科目名、実施時間数、実務家教員、企業連携科目、授業の目的、目標、講義概要、授業計画を全科・全科目統一書式としている。翌年度の講義予定は各学の担当教員が作成し、校長の承認を得て、3 月中に HP で公開をしている。また、同様の内容が記載されている日程表を各学科の教室に設置し、いつでも閲覧できる状態にしてある。	
授業計画書の公表方法	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_biyou.pdf https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_kango.pdf https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_kyosei.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学内の成績評価、履修、卒業要件に規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目や演習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。 100 点満点における 60 点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率 80%未満の学生についてはその成績評価の対象としない。 これらは学習の手引き（履修便覧）に記載し、周知している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績は、授業科目ごとに試験の成績、平常の成績及び出席状況等の一部あるいはそれらを総合的に判断して評価される。成績の評価は、Ａ、Ｂ、Ｃを合格、Ｄを不合格とし、合格した場合には所定の単位が与えられる。成績の表示は次のとおりである。

①試験成績の評価は下表の評点区分により、Ａ～Ｄで表す。Ｃ以上を合格とする。

判　　定		合　　格			不合格
評価	評点	100～80	79～70	69～60	59～0
	評語	A	B	C	D

②試験成績が、60 点に満たない時は不合格となる。

③学科目について不合格のある科目は、原則として１回に限り追試験を行うが、実習科目については追試験はない。追試験で合格した科目の評価は、Ｃとなる。

④各年次の年間成績の平均を算出してＡからＤで評価している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_guidance.pdf（16 ページ）

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業の認定要件は原則として次のとおりとする。

①指定の課程において履修すべき全科目に合格すること。

②指定の課程において所定の技能検定試験に合格し、登録すること。

③履修期間の出席日数は、80%以上であること。

④学習態度を勘案し、人格品性共に社会人としての資質を有すると認められること。

⑤納入すべき所定の費用を期日までに全納すること。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/system_guidance.pdf（20 ページ）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	中央動物専門学校
設置者名	学校法人　中央工学校

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/financial_statements.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/financial_statements.pdf
財産目録	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/financial_statements.pdf
事業報告書	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/financial_statements.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/financial_statements.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	動物管理専門課程	愛犬美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	2100 単位時間／単位	492 単位時間/単位	88 単位時間/単位	1520 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人	103 人	0 人	20 人	5 人	25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等

一般科目や専門科目においては、小テストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、課題ごとに提出期限を定め、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、担任制により学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担任が中心に行い、学生を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77 人 （100%）	0 人 （0.0%）	68 人 （88.3%）	9 人 （11.7%）
（主な就職、業界等） 愛犬美容科では、トリミングサロン（65%）、ペットショップ（11%）、動物病院（21%）その他（3%）である。 主な就職先は、イオンペット（株）、（株）コジマ、（株）AHB、（株）ユアペティア、（株）トーリーメイト　など			
（就職指導内容） 就職ガイダンスの実施、また就職に繋がっていく校外研修のガイダンスの実施。 合同企業説明会を開催。 求人企業の研究指導（雇用条件の理解等）。就職相談・面接指導の実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） トリマー、動物健康衛生管理検定 ビジネス能力検定ジョブパス、愛玩動物飼養管理士　など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
141 人	11 人	7.8%
（中途退学の主な理由） 病気療養、学力不振、進路先変更、経済理由など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前の面接による進路確認、担任面談による指導等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	動物管理専門課程	愛犬美容研究科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3180 単位時間／単位	572 単位時間/単位	90 単位時間/単位	2518 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	6 人	0 人	20 人	5 人	25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

一般科目や専門科目においては、小テストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、課題ごとに提出期限を定め、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、担任制により学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担任が中心に行い、学生を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0 人（ %）	0 人（ 0%）	0 人（ %）	0 人（ 0%）

（主な就職、業界等）
愛犬美容研究科では、トリミングサロンである。
主な就職先は、（株）AHB など

（就職指導内容）
就職ガイダンスの実施、また就職に繋がっていく校外研修のガイダンスの実施。
合同企業説明会を開催。
求人企業の研究指導（雇用条件の理解等）。就職相談・面接指導の実施等

（主な学修成果（資格・検定等））
トリマー、動物健康衛生管理検定
ビジネス能力検定ジョブパス、愛玩動物飼養管理士　など

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	14.2%
（中途退学の主な理由） 学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前の面接による進路確認、担任面談による指導等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	動物管理専門課程	愛玩動物看護科	※備考	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3180 単位時間／単位	1494 単位時間/単位	108 単位時間/単位	1578 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	234 人	1 人	20 人	13 人	33 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

一般科目や専門科目においては、小テストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、課題ごとに提出期限を定め、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、担任制により学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担任が中心に行い、学生を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
73 人（100%）	0 人（ 0%）	70 人（95.9%）	3 人（4.1%）

（主な就職、業界等）
動物看護研究科では、動物病院（100%）である。
主な就職先は、志村坂下動物総合医療センター、はとがや動物病院他

（就職指導内容）
就職ガイダンスの実施、また就職に繋がっていく校外研修のガイダンスの実施。
合同企業説明会を開催。
求人企業の研究指導（雇用条件の理解等）。就職相談・面接指導の実施等

（主な学修成果（資格・検定等））
動物臨床助士　サロントリマー
愛玩動物資料管理士　愛玩動物看護師（国家資格）など

（備考）（任意記載事項）
2023 年度入学の 1 年生から「動物看護研究科」から「愛玩動物看護科」へ学科名変更
3 年生は「動物看護研究科」
科名のみなため、募集定員、履修する科目名、時間等に変更は無い。そのため、総定員数・生徒実数に関しては 1・2 年生「愛玩動物看護科」と 3 年生「動物看護研究科」を合わせた数値となっている。
学科名変更に伴い専門士は現在再度申請中。
3 年生の「動物看護研究科」は専門士を取得できる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
241 人	6 人	2.5%
（中途退学の主な理由） 体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前の面接による進路確認、担任面談による指導等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	動物管理専門課程	動物共生研究科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3180 単位時間／単位	1356 単位時間/単位	282 単位時間/単位	1542 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	47	0 人	20 人	14 人	34 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

一般科目や専門科目においては、小テストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、課題ごとに提出期限を定め、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、担任制により学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担任が中心に行い、学生を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
19 人（100%）	0 人（0.0%）	13 人（68.4%）	6 人（31.6%）

（主な就職、業界等）
動物共生研究科では、ペットショップ（17.0%）、動物病院（21.0%）、しつけ教室（21.0%）、その他（41.0%）である。
主な就職先は、YPC 東京動物整形外科病院、東京都獣医師会、株式会社ユアペティアなど

（就職指導内容）
就職ガイダンスの実施、また就職に繋がっていく校外研修のガイダンスの実施。
合同企業説明会を開催。
求人企業の研究指導（雇用条件の理解等）。就職相談・面接指導の実施等

（主な学修成果（資格・検定等）） 家庭犬訓練士、動物臨床助士、トリマー、動物共生環境ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 介護職員初任者研修、愛玩動物飼養管理士　など
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52	3 人	5.8%
（中途退学の主な理由） 学力不振、進路変更、学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前の面接による進路確認、担任面談による指導等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化教養	動物管理専門課程	動物共生総合科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
４年	昼	4260 単位時間／単位	1402 単位時間/単位	390 単位時間/単位	2468 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	30 人	0 人	20 人	15 人	35 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
様式第２号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

一般科目や専門科目においては、小テストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、課題ごとに提出期限を定め、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、担任制により学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担任が中心に行い、学生を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
4 人（100%）	0 人（ 0%）	4 人（100%）	0 人（ 0%）

（主な就職、業界等）
動物共生総合科では、ペットショップ（50.0%）、その他（50.0%）である。
主な就職先は、株式会社 AHB、アークランズ株式会社など

（就職指導内容）
就職ガイダンスの実施、また就職に繋がっていく校外研修のガイダンスの実施。
合同企業説明会を開催。
求人企業の研究指導（雇用条件の理解等）。就職相談・面接指導の実施等

（主な学修成果（資格・検定等））
家庭犬訓練士、動物臨床助士、トリマー、動物共生環境ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
介護職員初任者研修、愛玩動物飼養管理士　など

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	1 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 学習意欲低下、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前の面接による進路確認、担任面談による指導等		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
愛犬美容科	200,000 円	480,000 円	640,000 円	実習費・施設維持費
愛犬美容研究科	200,000 円	480,000 円	640,000 円	実習費・施設維持費
愛玩動物看護科	200,000 円	480,000 円	640,000 円	実習費・施設維持費
動物共生研究科	200,000 円	480,000 円	640,000 円	実習費・施設維持費
動物共生総合科	200,000 円	480,000 円	640,000 円	実習費・施設維持費
修学支援（任意記載事項）				
2023 年の 1 年生から「動物看護研究科」が「愛玩動物看護科」に科名変更 今年度の 3 年生は「動物看護研究科」 科名以外の変更は無いため「動物看護研究科」も「愛玩動物看護科」として記入している。				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/assessment_self.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学内の自己評価委員会で作成した自己評価書をもとに、業界団体・企業・地域住民・保護者・卒業生によって構成された学校関係者評価委員会において、自己評価の内容や結果を踏まえた改善策、学校の重点目標や具体的方策、学校運営の改善への取り組み等について評価をいただき、次年度以降の改善に取り組んでいる。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
自治会長	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	近隣・地域
団体役員	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	業界団体
卒業生	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	卒業生
保護者	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	保護者
会社役員	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	企業
動物病院　院長	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	企業
会社役員	2023 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	企業

学校関係者評価結果の公表方法
https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/school_official_evaluation_report.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.chuo-a.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311700010
学校名（○○大学 等）	中央動物専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　中央工学校

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		67人	62人	67人
内訳	第Ⅰ区分	49人	41人	
	第Ⅱ区分	－	14人	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				67人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。